



プレスリリース

2023年10月5日

報道関係者各位

一般財団法人社会変革推進財団

「SIIFIC ウェルネス投資事業有限責任組合」 投資一号案件、ジェイファーマ株式会社への出資のお知らせ

一般財団法人社会変革推進財団（理事長：大野 修一、所在地：東京都港区、以下、「SIIF」）は、SIIF インパクトキャピタル株式会社（代表取締役：梅田和宏・三浦麗理、所在地：東京都港区、以下、「SIIFIC」）と共同運営するSIIFIC ウェルネス投資事業有限責任組合（以下、「SIIFIC ウェルネスファンド」）を通じて、ジェイファーマ株式会社（代表取締役：吉武益広、所在地：神奈川県横浜市、以下、「ジェイファーマ」）が実施する第三者割当増資を引き受けました。

日本の胆嚢・胆管がんの年間罹患者は約2.3万人、5年相対生存率は21種のがんの中、男女とも膀胱に次いで2番目に低い疾患となっています（出典：国立がん研究センターがん情報サービス）。ジェイファーマが開発を進めている「ナンブランラト（開発コード：JPH203）」は、胆嚢・胆管がんを最初の適応症として開発を実施、その後、アンメット・メディカル・ニーズ（未だに有効な治療法がない疾患に対する医療ニーズ）の大きい他疾患を対象に開発を進める予定です。

SIIFはこれまで蓄積してきた知見に基づき、SIIFICの取り組みを通して、ウェルネス領域のシステムチェンジを目指すインパクト投資・IMMを実践し、その実例や知見を公開・発信、人材を育成・輩出することを目指しています。そのために今回の出資検討では、システム思考の手法であるループ図（図1）やロジックモデル（図2）を用いて、患者・患者の家族・医療従事者・製薬企業・行政との対話を重ね、深く課題の構造分析を実施しました。その結果、当ファンドのインパクト・ゴールであるウェルネス・エクイティーの実現に、創業者の遠藤先生の理念「たとえ末期のがん患者でも、最期まで希望を与え続けられる医療体制を構築しなくてはならない」が整合すると判断しました。がんの縮小率という従来の医療パラダイムにおける成果指標だけでなく、患者のQOLや全人的な健康・ウェルネスの追求をインパクト指標に定め、医療関係者へのウェルネスパラダイムの波及を目指しています。今回のジェイファーマへの出資を通して、ウェルネス領域のシステムチェンジが起きるよう支援してまいります。

図1：ループ図

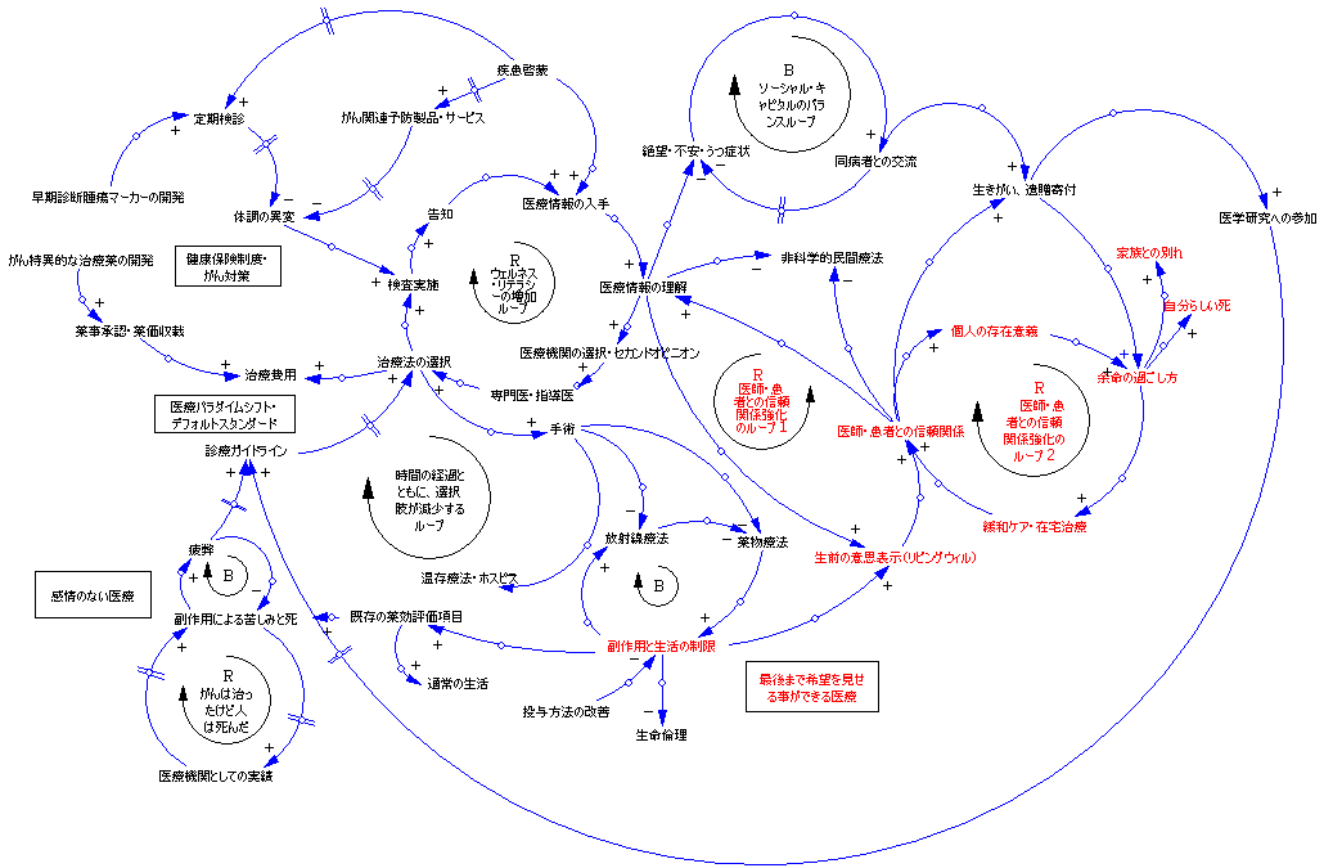
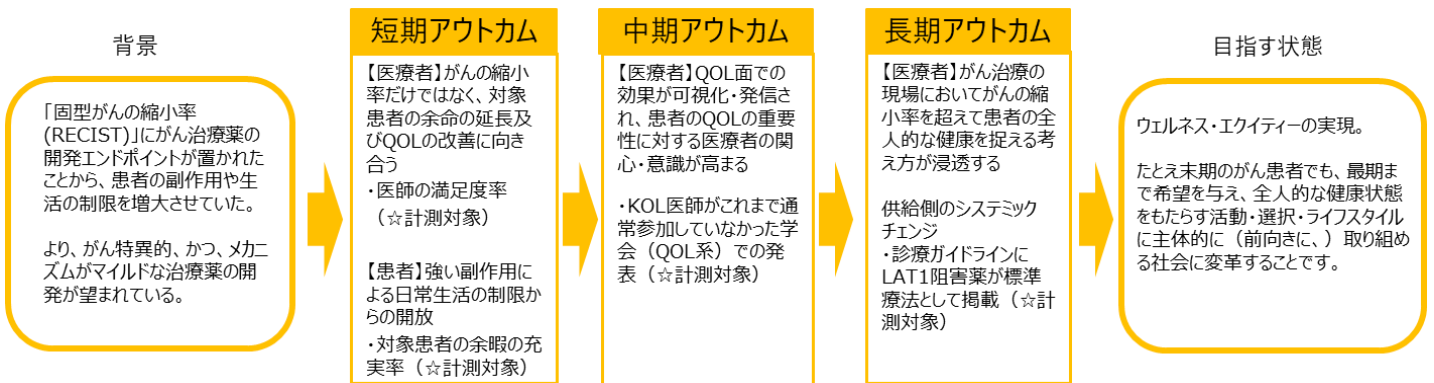


図2：ロジックモデル



【SIIFIC ウェルネスファンドの 投資テーマとの整合性】

1. 安心できる医療のデフォルトスタンダードとなる得る製品、サービス
2. 前向きかつ多様な活動、ライフスタイルへの取り組みを促す製品、サービス

【ジェイファーマ株式会社 代表取締役 吉武 益広様のコメント】

「ラウンドEにおきまして24億円の追加資金調達を実施しました。現在進めているナンブランラト、JPH034のプロジェクトにつきましては、大きな進展が見られました。SIIF インパクトキャピタル(株)様を

はじめとして、今回出資していただいた投資家の皆様には、当社の取り組みをご評価いただき、次のステージに進めるための大きな後押しを得たと思っています。株主の皆様、薬剤に期待を寄せる患者様、医療関係者のご期待に応えるべく、全力で創薬への挑戦を推し進めて参る所存です。」

【ジェイファーマ株式会社】

設立：2005年12月26日

所在地：神奈川県横浜市鶴見区小野町75番地1 横浜新技術創造館1号館

従業員：24名（役職員含む）

代表取締役：吉武 益広

<https://www.j-pharma.com/>

ジェイファーマは近年、創薬標的として注目されているアミノ酸トランスポーター、LAT1阻害薬の治験を世界で唯一、実施しているスタートアップです。創業者フェローの遠藤仁氏（東京大学医学部助教授を経て、その後杏林大学名誉教授）、金井好克氏（大阪大学医学系研究科教授）により1998年にアミノ酸取り込みに関与する細胞膜輸送体であるLAT1の単離に成功しました。ジェイファーマが開発を進めているLAT1阻害薬「ナンプランラト（開発コード：JPH203）」の第2相臨床試験の結果は、今年2月、ASCO（American Society of Clinical Oncology；米国臨床腫瘍学会）にて、優秀な研究を行ったトップ3%だけが発表することができる口頭発表に選出されました。

社会変革推進財団（SIIF）

2013年より日本財団内においてインパクト投資に関する調査研究に着手し、日本財団から助成金を受けて、2017年社会的投資推進財団として設立されました。その後、2019年社会変革推進機構と合併し、社会変革推進財団となりました。GSG国内諮問委員会の設立や賛同メンバーの招集や、インパクト投資における提言書や現状を記した報告書の発行、金融庁との共催で金融機関等との勉強会の開催などインパクト投資の推進のための活動をしています。様々な社会課題が山積する日本において、自助・公助・共助の枠組みを超え、社会的・経済的な資源が循環する社会の実現を目指し活動をしています。

SIIF インパクトキャピタル株式会社

会社名：SIIF インパクトキャピタル（SIIFIC）株式会社

設立日：2022年9月8日

代表者：梅田和宏・三浦麗理

事業内容：インパクト投資ファンドの運用

運用中ファンド：SIIFIC ウェルネス投資事業有限責任組合

ウェルネス領域において、財務的なリターンと並行してポジティブで測定可能な社会的・環境的なインパクトを同時に生み出すことを意図している、革新的なスタートアップ企業の支援

<https://siifc.co.jp/>